2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
プロポーション美学	前期	28	35	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技60%　講義40%	なし

科目概要	モデル、俳優などの表現者の仕事を理解し、美容、ヘアメイク、外見作りの一般常識や理論を学ぶ。 さらに、なりたいイメージを表現するために、内面と外見の充実、感性を磨く術、イメージアップ・セルフケアなどの日々の取り組みを理解し、後期3回の撮影を通じてポートフォリオ作成に向けて尽力する。
習得項目	1.スキンケアやメイク、ヘアアレンジ、ベストカラー、骨格診断など、理論を学びセルフイメージを完成させていく。 2.オーディション用ナチュラルヘアメイクのほか、ファッションイベントやイメージ別撮影に向けて、撮影イメージ、ヘアメイクや衣装、ポージングなどを提案し、個人のほか、クラスとしても互いに作品を創りあげることができる。
評価方法	出席率60%未満は不可。毎授業の課題と取り組みの評価、課題提出物、期末試験、すべて100点満点で評価し、成績は平均点で算出する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月10日	オリエンテーション・HR		
2	4月17日	前期オリエンテーション	授業受け方 モデル心構え	
	4月24日	スキンケア	肌質とデイリーケア	
	5月1日	顔のゴールデンプロポーション	似合うメイクバランス	
	5月8日	顔のゴールデンプロポーション	顔型とヘアバランス	
	5月15日	ヘア２	髪質とヘアケア	
	5月22日	ベースメイク、空間処理	ナチュラルメイク実習	
	5月29日	アイブロウメイク	ナチュラルメイク実習	
	6月5日	アイメイク	ナチュラルメイク実習	
	6月12日	リップ、チーク	ナチュラルメイク実習	
	6月19日	ベストカラー診断	似合う色を知る	
	6月26日	印象分析	自己の印象を知る	
	7月3日	骨格診断	自己の体型バランス	
	7月10日	前期終了試験	前期まとめ	

講師区分	非常勤	講師名	山田　奈生子	関係実務経験	イメージコンサルタント・ヘアメイク、美容師として雑誌、広告の撮影や、個人や企業のイメージコンサルティング、外見セミナーをおこなう。

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
プロポーション美学	後期Ⅰ	22	27.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技60%　講義40%	なし

科目概要	モデル、俳優などの表現者の仕事を理解し、美容、ヘアメイク、外見作りの一般常識や理論を学ぶ。 さらに、なりたいイメージを表現するために、内面と外見の充実、感性を磨く術、イメージアップ・セルフケアなどの日々の取り組みを理解し、後期3回の撮影を通じてポートフォリオ作成に向けて尽力する。
習得項目	1.スキンケアやメイク、ヘアアレンジ、ベストカラー、骨格診断など、理論を学びセルフイメージを完成させていく。 2.オーディション用ナチュラルヘアメイクのほか、ファッションイベントやイメージ別撮影に向けて、撮影イメージ、ヘアメイクや衣装、ポージングなどを提案し、個人のほか、クラスとしても互いに作品を創りあげることができる。
評価方法	出席率60%未満は不可。毎授業の課題と取り組みの評価、課題提出物、期末試験、すべて100点満点で評価し、成績は平均点で算出する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	9月4日	後期Iオリエンテーション	後期授業受け方	
3	9月11日	ナチュラルヘアメイク実習１	ステップ２ 似合うイメージで	
	9月25日	ナチュラルヘアメイク実習２	ステップ２ 似合うイメージで	
4	10月2日	撮影実習１に向けて	ヘアメイク実習	
	10月16日	撮影実習１	撮影	
	10月23日	撮影実習２に向けて	ヘアメイク実習	
	10月30日	撮影実習２	撮影	
	11月6日	撮影実習３に向けて	ヘアメイク実習	
	11月13日	撮影実習３	撮影	
	11月20日	撮影振り返り	ポートフォリオについて	
	11月27日	後期終了試験	全授業まとめ	

講師区分	非常勤	講師名	山田　奈生子	関係実務経験	イメージコンサルタント・ヘアメイク、美容師として雑誌、広告の撮影や、個人や企業のイメージコンサルティング、外見セミナーをおこなう。

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
英会話	後期Ⅱ	20	25	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	Texts, conversation, drawing, making	なし

科目概要	English for fashion: colours, patterns, materials, shopping, travel, trends, daily conversation
習得項目	English for fashion: colours, patterns, materials, shopping, travel, trends, daily conversation
評価方法	Course work, evaluation, test (if possible)

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	12月4日	Introductions, bingo, greetings	Self-introduction	
2	12月11日	Verbs A, hobbies, apparel	Verb tenses	
3	12月18日	Verbs B, colour palette, patterns	Colours, patterns, verb tenses	
4	12月25日	Verbs C, materials, washing, apparel	Verb tenses, materials	
5	1月15日	Verbs D, coordination	Verb tenses, co-ordianting English	
6	1月22日	Mannequins, styles, trends	Fashion English vocabulaty	
7	1月29日	Fashion history, comparisons, adjectives, adverbs	Grammar, fashion history	
8	2月5日	International travel, fashion show	Travel English, fashion show vocabulary	
	2月19日	FS期間		
	2月26日	FS振替休日		

講師区分	非常勤	講師名	Stephen Spencer	関係実務経験	英語教師:NEC, NHK文化会館, Sojitsu, Onward, Chugai, Kokuyo, Kanematsu, Mitsubishi、JリーグFC東京ホームゲームのアナウンス及びオフィシャルホームページ翻訳、ことみせ の ライター

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
演技実習	前期	28	35	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義20%　実技80%	なし

科目概要	台本を用いて台詞を言える、想像力を活かした身体表現および感情表現のパフォーマンスを実現する為の実技
習得項目	１．はっきり明瞭に聞き取れる発声・滑舌の基礎力を身に付ける ２．身体全体を自由に動かし、表情筋を使って感情豊かに演技できる柔軟性を養う ３．与えられた演技課題に意欲的に取り組める積極性を養う
評価方法	・外部講師による授業（現代アクション）の場合は、同授業中に各生徒の取組姿勢などをチェックして記録する ・実技や実践授業のあとは、各学生にレポートを書かせて、理解度を確認し、評価・採点の対象とする ・試験日に限らず、授業内の実技課題の発表ごとに、評価記録を作成し、採点の際に用いる

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	1	4月10日	オリエンテーション・HR		
	2	4月17日	『「演じる」とは何か』（講義）	表現力の必要性の理解	
	3	4月24日	基礎訓練（呼吸・発声・滑舌）	舌根と表情筋を鍛える	
	4	5月1日	基礎訓練／舞台演劇台本を読む	滑舌訓練・臆せず台詞を言う	
	5	5月8日	基礎訓練／舞台演劇台本を読む・動く	滑舌訓練・台詞と動作	
	6	5月15日	基礎訓練／舞台台本を読む・動く②	滑舌訓練・台詞と動作②	
	7	5月22日	基礎訓練／舞台台本を読む・動く③	滑舌訓練・台詞と動作③	
	8	5月29日	基礎訓練／舞台台本を読む・動く④	滑舌訓練・台詞と動作④	
	9	6月5日	映像ドラマ台本を演じる（読み・動作）	自然な表情で台詞が言える	
	10	6月12日	映像ドラマ台本を演じる②（読み・動作）	自由に演じられる	
	11	6月19日	映像ドラマ台本を演じる③（読み・動作）	工夫をして演じられる	
	12	6月26日	身体表現＞現代アクション・殺陣	身体を使って動く	
	13	7月3日	舞台演技の集中力を鍛える（三人芝居）	相手役と演じられる	
	14	7月10日	舞台演技の集中力を鍛える②（三人芝居）	自然なリアクション	

講師区分	非常勤	講師名	田口　萌	関係実務経験	劇団 球代表／北区つかこうへい劇団 井上ひさし戯曲作法塾第３期生 １９８７年東映デビュー／俳優・モデル・リポーター・脚本・演出・劇作家協会員

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
演技実習	後期 Ⅰ	22	27.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義20%　実技80%	なし

科目概要	台本を用いて台詞を言える、想像力を活かした身体表現および感情表現のパフォーマンスを実現する為の実技
習得項目	１．はっきり明瞭に聞き取れる発声・滑舌の基礎力を身に付ける ２．身体全体を自由に動かし、表情筋を使って感情豊かに演技できる柔軟性を養う ３．与えられた演技課題に意欲的に取り組める積極性を養う
評価方法	・外部講師による授業（現代アクション）の場合は、同授業中に各生徒の取組姿勢などをチェックして記録する ・実技や実践授業のあとは、各学生にレポートを書かせて、理解度を確認し、評価・採点の対象とする ・試験日に限らず、授業内の実技課題の発表ごとに、評価記録を作成し、採点の際に用いる

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	15	9月4日	基礎訓練２（呼吸・発声・滑舌）	「外郎売」を暗唱できる	
	16	9月11日	基礎訓練２-②／舞台演技①＞7人芝居	「外郎売」暗唱①・台詞	
	17	9月25日	基礎訓練２-③／舞台演技②＞7人芝居	「外郎売」②・創作の工夫	
	18	10月2日	基礎訓練２-④／舞台演技③＞7人芝居	「外郎売」③・創作の工夫②	
	19	10月16日	基礎訓練２-⑤／舞台演技④＞7人芝居	「外郎売」④・創作工夫③	
	20	10月23日	基礎訓練２-⑥／舞台演技⑤＞7人芝居	「外郎売」⑤・ランウェイ演技	
	21	10月30日	基礎訓練２-⑦／舞台演技⑥＞7人芝居	「外郎売」⑥・自然な動き	
	22	11月6日	基礎訓練２-⑧／舞台演技⑦＞7人芝居	「外郎売」⑦・創作の応用	
	23	11月13日	舞台演技課題⑥「インテグレーション」	作品を創作し発表する	
	24	11月20日	身体表現＞現代アクション・殺陣	身体を使って動く	
	25	11月27日	さまざまな台本を用いて演じる①	台詞を覚える・動作する	

講師区分	非常勤	講師名	田口　萌	関係実務経験	劇団 球代表／北区つかこうへい劇団 井上ひさし戯曲作法塾第３期生 １９８７年東映デビュー／俳優・モデル・リポーター・脚本・演出・劇作家協会員

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
演技実習	後期 Ⅱ	20	25	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義20%　実技80%	なし

科目概要	台本を用いて台詞を言える、想像力を活かした身体表現および感情表現のパフォーマンスを実現する為の実技
習得項目	１．はっきり明瞭に聞き取れる発声・滑舌の基礎力を身に付ける ２．身体全体を自由に動かし、表情筋を使って感情豊かに演技できる柔軟性を養う ３．与えられた演技課題に意欲的に取り組める積極性を養う
評価方法	・外部講師による授業（現代アクション）の場合は、同授業中に各生徒の取組姿勢などをチェックして記録する ・実技や実践授業のあとは、各学生にレポートを書かせて、理解度を確認し、評価・採点の対象とする ・試験日に限らず、授業内の実技課題の発表ごとに、評価記録を作成し、採点の際に用いる

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
26	12月4日	基礎訓練３・舞台と映像台本	滑舌を鍛える・台詞と動作	
27	12月11日	さまざまな台本を用いて演じる②	台詞を覚える・動作する	
28	12月18日	エチュード（即興演技）を自由に演じる	応用実技（想像力強化）	
29	12月25日	エチュード（即興演技）を自由に演じる②	応用実技（表現力強化）	
30	1月15日	自己表現とフリートーク課題	生き生きと自己PRできる	
31	1月22日	身体表現２＞現代アクション・殺陣	アクション要素の演技	
32	1月29日	滑舌「外郎売」暗唱・最終演技課題試験	自信を持って演じられる	
33	2月5日	演技要素のある自己PR・最終レポート	演技レポートのまとめ	
	2月19日	FS期間		
	2月26日	FS期間②		

講師区分	非常勤	講師名	田口　萌	関係実務経験	劇団 球代表／北区つかこうへい劇団 井上ひさし戯曲作法塾第３期生 １９８７年東映デビュー／俳優・モデル・リポーター・脚本・演出・劇作家協会員

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
PCワーク	前期	28	35	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義10%　・　実習90%	あり

科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章作成技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使用してプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことを目指す。
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文書作成を行えるようにする。 3.Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使用したプレゼンテーションデータを作成する。
評価方法	授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	1	4月11日	Windowsパソコンの基本操作 タイピング練習	Windows基本操作の 理解	
	2	4月18日	<Word>簡単なビジネス文書、表入り文書の作成	Word基礎レベルの理解	
	3	4月25日	特別講義①		外部講師 こんどうようぢさん
	4	5月9日	<Word>画像入り文書の作成		
	5	5月16日	<Word>図形やテキストボックスを使用した文書の作成		
	6	5月23日	<Word>ヘッダー/フッターを使用した文書の作成		
	7	5月30日	特別講義②		外部講師 こんどうようぢさん
	8	6月6日	<Excel>簡単な表の作成、四則計算	Excel基礎レベルの 理解	
	9	6月13日	<Excel>SUM、AVERAGE、MAX、MINを使用した表の作成		
	10	6月20日	<Excel>表のグラフ化、グラフ編集		
	11	6月27日	特別講義③		外部講師 こんどうようぢさん
	12	7月4日	テスト前総復習、期末テスト	前期内容の復習	
	13	7月11日	テスト返却、解説	前期内容、テストの 振り返り	
	14	7月18日	<Excel>レポート文書の作成	Excel基礎レベルの 理解	

講師区分	常勤	講師名	鶴本　望	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や入社研修でのIT技術指導の経験

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
PCワーク	後期Ⅱ	22	27.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義10%　・　実習90%	なし

科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト（Word・Excel・Powerpoint）の使い方を習得する。 基本的なタイピングからWordを使用した文章作成技術を習得。 Excelを使用した表やグラフの作成技術を習得。 Powerpointを使用してプレゼンデータを作成し、効果的なプレゼンテーションを行うことを目指す。
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文書作成を行えるようにする。 3.Excelを使用した表やグラフの作成、関数を使用した表の作成方法を身に付ける。 4.PowerPointを使用したプレゼンテーションデータを作成する。
評価方法	授業態度、課題提出、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	15	12月5日	Word/Excel前期内容の復習 <Word>ビジネス文書の校正	Word実務レベルの理解	
	16	12月12日	<Excel>計算式を組み込んだ見積書の作成	Excel実務レベルの理解	
	17	12月19日	<Excel>テーブルの作成、書式設定	↓	
	18	12月26日	<Excel>散布図、グラフ演習	↓	
	19	1月16日	検定試験演習	MOS試験問題の把握	
	20	1月23日	テスト前総復習、期末テスト	後期内容の復習	
	21	1月30日	<Powerpoint> プレゼンデータの作成①	PowerPoint実務レベルの理解	
	22	2月6日	<Powerpoint> プレゼンデータの作成②	↓	
	23	2月13日	<Powerpoint> プレゼン発表演習	↓	
	24	2月20日	ファッションショー期間		
	24	2月27日	ファッションショー期間		

講師区分	常勤	講師名	鶴本　望	関係実務経験	企業向けのWindows操作講習会実施や入社研修でのIT技術指導の経験

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ヘアメイク	後期Ⅰ	26	32.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義40%・実技60%	なし

科目概要	ヘアメイクによる印象の変化、みせ方を学ぶ 自分自身でみせたい印象となるヘアスタイリングとメイクアップテクニックを学ぶ
習得項目	ヘアスタイルとメイクアップによる印象の違いを学び 求められるイメージを自分自身で表現をできるようになる
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	9月5日	オリエンテーション　講師紹介、ヘアメイク概論	ヘアメイクの概論	
2	9月12日	ヘアスタイリングで変わる印象	見た目の印象の変わり方	
3	9月19日	メイクアップで変わる印象	見た目の印象の変わり方	
4	9月26日	イメージをつくるヘアメイク1	印象を変えるテクニック	フォトセッション
5	10月3日	イメージをつくるヘアメイク2	印象を変えるテクニック	フォトセッション
6	10月10日	カワイイ印象のヘアメイクをつくり撮影 ※フォトセッション授業のテーマに合わせて変更する可能性あります	カワイイイメージの作り方	フォトセッション
7	10月17日	カッコイイ印象のヘアメイクをつくり撮影※フォトセッション授業のテーマに合わせて変更する可能性あります	カッコイイイメージの作り方	フォトセッション
8	10月24日	K-POPアイドルの印象のヘアメイクをつくり撮影 ※フォトセッション授業のテーマに合わせて変更する可能性あります	韓国のトレンドメイクの作り方	フォトセッション
9	10月31日	カジュアルな印象のヘアスタイリングをつくり撮影※フォトセッション授業のテーマに合わせて変更する可能性あります	カジュアルイメージの作り方	フォトセッション
10	11月7日	フォーマルな印象のヘアスタイリングをつくり撮影※フォトセッション授業のテーマに合わせて変更する可能性あります	フォーマルなイメージの作り方	フォトセッション
11	11月14日	ロック・ハードな印象のヘアメイクをつくり撮影※フォトセッション授業のテーマに合わせて変更する可能性あります	ロック・ハードな印象の作り方	フォトセッション
12	11月21日	テスト：自身で撮影をプロデュースをしヘアスタイリングをつくり撮影		
13	11月28日	テストフィードバック	今後のイメージ作りへのアドバイス	

講師区分	非常勤	講師名	名取瞳・かすみきりこ	関係実務経験	ヘアメイクアーティストとして 多数の広告や映像作品に携わる

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ウォーキング&ポージング	前期	56	70	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技90%　講義10%	なし

科目概要	プロモデルに必要な基本、他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を身に付ける。 業界の一員として知識を生かせる仕事に付く。 正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを身に付ける。
習得項目	基本からのウォーキングとポージングのテクニックを習得する。 モデル、俳優として一生の財産となる「美」に関するノウハウの習得 就職時に役立つ自己表現力（セルフプロデュース）
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状態 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する。

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	1	4月11日	自己紹介、授業内容説明、採寸	お互いを知る	
		4月12日	モデルの仕事について モデルに必要な立ち居振る舞い	仕事への理解	
	2	4月18日	基本姿勢	正しい姿勢	
		4月19日	基本ウォーキング	基礎知識	
		4月25日	基本ポーズ、ターン	基礎知識	
		4月26日	動画撮影・確認	基礎知識	
		5月9日	採寸		
	3	5月10日	1/4ターン	見せ方のバリエーション	
		5月16日	1/2ターン	見せ方のバリエーション	
		5月17日	1回転ターン	見せ方のバリエーション	
		5月23日	ターンまとめ①	見せ方のバリエーション	
		5月24日	ターンまとめ②	見せ方のバリエーション	
	4	5月30日	ショーの動画鑑賞	見せ方のバリエーション	
		45077	ショーの動画鑑賞②	見せ方のバリエーション	
	5	45083	浴衣、着物のたたみ方、ポーズ①	着物の知識	

講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子（代表）	関係実務経験	オスカープロモーション（美少女、モデル教育） 企業、大学　etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ウォーキング&ポージング	前期	56	70	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技90%　講義10%	なし

科目概要	プロモデルに必要な基本、他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を身に付ける。 業界の一員として知識を生かせる仕事に付く。 正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを身に付ける。
習得項目	基本からのウォーキングとポージングのテクニックを習得する。 モデル、俳優として一生の財産となる「美」に関するノウハウの習得 就職時に役立つ自己表現力（セルフプロデュース）
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状態 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	6月7日	浴衣、着物のたたみ方、ポーズ②	着物の知識	
	6月13日	浴衣、着物の見せ方、歩き方①	着物の知識	
	6月14日	浴衣、着物の見せ方、歩き方②	着物の知識	
6	6月20日	ショー形式の見せ方・歩き方①	見せ方のバリエーション	
	6月21日	ショー形式の見せ方・歩き方②	見せ方のバリエーション	
	6月27日	ショー形式の見せ方・歩き方③	見せ方のバリエーション	
	6月28日	ショー形式の見せ方・歩き方④	見せ方のバリエーション	
	7月4日	前期実技テスト①	基礎知識	
	7月5日	前期実技テスト②	基礎知識	
	7月11日	ショー形式の見せ方・歩き方⑤	見せ方のバリエーション	
7	7月12日	前期修了ショー練習	習得した技術の確認・応用	
	7月18日	前期修了ショーの練習②	習得した技術の確認・応用	
	7月19日	前期修了ショーリハーサル		

講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子（代表）	関係実務経験	オスカープロモーション（美少女、モデル教育） 企業、大学　etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ウォーキング&ポージング	後期Ⅰ	52	65	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技90%　講義10%	なし

科目概要	プロモデルに必要な基本、他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を身に付ける。 業界の一員として知識を生かせる仕事に付く。 正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを身に付ける。
習得項目	基本からのウォーキングとポージングのテクニックを習得する。 モデル、俳優として一生の財産となる「美」に関するノウハウの習得 就職時に役立つ自己表現力（セルフプロデュース）
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状態 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	9月5日	採寸		
8	9月6日	前期復習	習得度の確認	
9	9月12日	小物の扱い方	基礎知識	
	9月13日	小物の扱い方②	基礎知識	
	9月19日	小物の扱い方・応用	基礎知識・応用	
10	9月20日	小物の見せ方	基礎知識	
	9月26日	小物の見せ方②	基礎知識	
	9月27日	小物の見せ方・応用	基礎知識・応用	
	10月3日	採寸		
11	10月4日	ウエディングの見せ方、歩き方	基礎知識	
	10月10日	ウエディングの見せ方、歩き方②	基礎知識	
12	10月11日	ロングドレスの見せ方、歩き方	基礎知識	
	10月17日	ロングドレスの見せ方、歩き方②	基礎知識	
13	10月18日	フォーマルウエアの見せ方、歩き方	基礎知識	
	10月24日	フォーマルウエアの見せ方、歩き方②	基礎知識	

講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子（代表）	関係実務経験	オスカープロモーション（美少女、モデル教育） 企業、大学　etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ウォーキング&ポージング	後期Ⅰ	52	65	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技90%　講義10%	なし

科目概要	プロモデルに必要な基本、他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を身に付ける。 業界の一員として知識を生かせる仕事に付く。 正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを身に付ける。
習得項目	基本からのウォーキングとポージングのテクニックを習得する。 モデル、俳優として一生の財産となる「美」に関するノウハウの習得 就職時に役立つ自己表現力（セルフプロデュース）
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状態 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する。

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	14	10月25日	ドレス、フォーマルウエアの応用	基礎知識・応用	
		10月31日	ドレス、フォーマルウエアの応用②	基礎知識・応用	
		11月1日	採寸		
	15	11月7日	ジャケットの脱ぎ方、着方	基礎知識	
		11月8日	ジャケットの見せ方	基礎知識	
		11月14日	ジャケットの見せ方②	基礎知識・応用	
		11月15日	後期１実技テスト①	習得度の確認	
		11月21日	後期１実技テスト②	習得度の確認	
	16	11月22日	コートの脱ぎ方、着方	基礎知識	
		11月28日	コートの見せ方	基礎知識	
		11月29日	コートの見せ方②	基礎知識・応用	

講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子（代表）	関係実務経験	オスカープロモーション（美少女、モデル教育） 企業、大学　etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ウォーキング&ポージング	後期Ⅱ	44	55	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技90%　講義10%	なし

科目概要	プロモデルに必要な基本、他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を身に付ける。 業界の一員として知識を生かせる仕事に付く。 正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを身に付ける。
習得項目	基本からのウォーキングとポージングのテクニックを習得する。 モデル、俳優として一生の財産となる「美」に関するノウハウの習得 就職時に役立つ自己表現力（セルフプロデュース）
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状態 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	12月5日	採寸		
17	12月6日	自己PRの練習	基礎知識	
	12月12日	自己PRの練習②	基礎知識	
	12月13日	自己PRの練習③	基礎知識	
18	12月19日	オーディション練習 （CM&ショー）	応用力	
	12月20日	オーディション練習② （CM&ショー）	応用力	
	1月10日	採寸		
19	1月16日	オーディションのシュミレーション （CM&ショー）	応用力、習得度の確認	
	1月17日	オーディションのシュミレーション （CM&ショー）②	応用力、習得度の確認	
	1月23日	後期２実技テスト①	習得度の確認	
	1月24日	後期２実技テスト②	習得度の確認	
20	1月30日	ショー形式の見せ方	基礎知識	
	1月31日	ショー形式の見せ方②	基礎知識	
	2月6日	採寸		
21	2月7日	FSショーの練習	応用	

講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子（代表）	関係実務経験	オスカープロモーション（美少女、モデル教育） 企業、大学　etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ウォーキング&ポージング	後期Ⅱ	44	55	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技90%　講義10%	なし

科目概要	プロモデルに必要な基本、他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を身に付ける。 業界の一員として知識を生かせる仕事に付く。 正しい姿勢と美しい歩き方、ポージングを身に付ける。
習得項目	基本からのウォーキングとポージングのテクニックを習得する。 モデル、俳優として一生の財産となる「美」に関するノウハウの習得 就職時に役立つ自己表現力（セルフプロデュース）
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状態 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	2月13日	FSショーの練習②	応用	
	2月14日	FS期間①		
	2月20日	FS期間②		
	2月21日	FS期間③		
	2月27日	FS片付け①		
	2月28日	FS片付け②		

講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子（代表）	関係実務経験	オスカープロモーション（美少女、モデル教育） 企業、大学　etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
フォトセッション	前期	28	35	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技90%　講義10%	なし

科目概要	プロカメラマンとのコラボレーション授業 表情＆ポージングを巧みに変えて、表現する 他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を付ける。
習得項目	５０種類以上のポーズが取れる事 芝居、表情、表現が出来るようになる。
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状態 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月12日	オリエンテーション	授業の仕組みを知る	
2	4月19日	撮影（コンポジット・ブック用）	撮影の基礎	
3	4月26日	撮影②（コンポジット・ブック用）	撮影の基礎	
4	5月10日	撮影③（コンポジット・ブック用）	撮影の基礎	
5	5月17日	屋外ロケ撮影	スタジオやロケでの撮られ方	
6	5月24日	撮影④（コンポジット・ブック用）	スタジオやロケでの撮られ方	
7	5月31日	撮影⑤（コンポジット・ブック用）	スタジオやロケでの撮られ方	
8	6月7日	浴衣の撮影　着方、たたみ方①	浴衣の基礎	
	6月14日	浴衣の撮影　着方、たたみ方②	浴衣の基礎	
	6月21日	浴衣の撮影　着方、たたみ方③	浴衣の基礎	
9	6月28日	雑誌のイメージ撮影①	雑誌撮影の基礎	
	7月5日	テスト	基礎知識の確認	
	7月12日	雑誌のイメージ撮影②	雑誌撮影の基礎	
	7月19日	前期修了ショーリハーサル		

講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子（代表）	関係実務経験	オスカープロモーション（美少女、モデル教育） 企業、大学　etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
フォトセッション	後期Ⅰ	26	32.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技90%　講義10%	なし

科目概要	プロカメラマンとのコラボレーション授業 表情＆ポージングを巧みに変えて、表現する 他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を付ける。
習得項目	５０種類以上のポーズが取れる事 芝居、表情、表現が出来るようになる。
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状態 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
10	9月6日	前期の復習	授業の仕組みを知る	
11	9月13日	基本撮影⑥（コンポジット・ブック用）	撮影の基礎	
12	9月20日	基本撮影⑦（コンポジット・ブック用）	撮影の基礎	
13	9月27日	基本撮影⑧（コンポジット・ブック用）	撮影の基礎	
14	10月4日	アート展、展示会鑑賞	芸術	
15	10月11日	ウェディング撮影	ドレスやスーツの着方 撮られ方	
	10月18日	ウェディング撮影②	ドレスやスーツの着方 撮られ方	
16	10月25日	ドレス・タキシードでの撮影①	ドレスやスーツの着方 撮られ方	
	11月1日	ドレス・タキシードでの撮影②	ドレスやスーツの着方 撮られ方	
17	11月8日	ジャケット・コート撮影①	アウターの着方・脱ぎ方 撮られ方	
	11月15日	ジャケット・コート撮影②	アウターの着方・脱ぎ方 撮られ方	
18	11月22日	ジャケット・コート・そのほか撮影③	アウターの着方・脱ぎ方 撮られ方	
	11月29日	ジャケット・コート・そのほか撮影④	アウターの着方・脱ぎ方 撮られ方	

講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子（代表）	関係実務経験	オスカープロモーション（美少女、モデル教育） 企業、大学　etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
フォトセッション	後期Ⅱ	22	27.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技90%　講義10%	なし

科目概要	プロカメラマンとのコラボレーション授業 表情＆ポージングを巧みに変えて、表現する 他の職種（タレント、俳優）についても、セルフプロデュース力を付ける。
習得項目	５０種類以上のポーズが取れる事 芝居、表情、表現が出来るようになる。
評価方法	授業態度、出席状況、実技の習得状態 目標に向かう言動、行動、意欲を総合的に評価する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
19	12月6日	小物を使用した撮影①	小物の使い方	
	12月13日	小物を使用した撮影②	小物の使い方	
	12月20日	小物を使用した撮影③	小物の使い方	
20	1月10日	応用撮影①（コンポジット・ブック用）	撮影の応用	
21	1月17日	応用撮影②（コンポジット・ブック用）	撮影の応用	
22	1月24日	応用撮影③（コンポジット・ブック用）	撮影の応用	
23	1月31日	応用撮影④（コンポジット・ブック用）	撮影の応用	
24	2月7日	ブック制作・まとめ	撮影基礎・応用	
	2月14日	FS期間		
	2月21日	FS期間②		
	2月28日	FS片付け		

講師区分	非常勤	講師名	津曲久美子（代表）	関係実務経験	オスカープロモーション（美少女、モデル教育） 企業、大学　etc ウォーキング、指導 モデル事務所役員、現役モデルとして活躍中

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ダンスレッスン	前期	28	35	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技95%、講義5%	なし

科目概要	ダンス全般を習うことによって、正しい姿勢、見られる身体作りを学び、モデルとして身体表現を自然に出来る様、またダンスを自分の武器に出来る様にする。
習得項目	１．人間本来の綺麗な姿勢を取り戻し、日本人にありがちなＯ脚を直す。 ２．音楽を聴いて、身体で表現する事を学ぶ ３．オーディション対策やその後の仕事をしていく上で、ダンスができる強みを作る。
評価方法	平常点（授業中の態度や取り組み方、積極性など）が７５パーセント、テストの実技点が２５パーセントで評価する。 ダンスの経験値にかかわらず、その人自身の伸びしろや努力を評価。（出席率が７５パーセント未満、成績評価が６０点未満の場合は補習の対象となる。出席率が６５パーセント未満の場合は留年。）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月13日	自己紹介、一年の流れ	音楽とダンスの基礎知識	
2	4月20日	ＨｉｐＨopの基礎、身体作り１	UPとDOWNの違い	
3	4月27日	ＨｉｐＨopの基礎、身体作り　２	簡単なステップ	
4	5月11日	ＨｉｐＨopの基礎、身体作り　３	簡単なステップ	
5	5月18日	ＨｉｐＨopの基礎、身体作り　４	少し応用編ステップ	
6	5月25日	前期ショーへ向けての振り付け演習	曲決め	
	6月1日	スポーツイベント		
7	6月8日	前期ショーへ向けての振り付け演習	イメージをふくらませる	
	6月15日	前期ショーへ向けての振り付け演習	振付の中から表現を学ぶ	
	6月22日	前期ショーへ向けての振り付け演習	振付の中から表現を学ぶ	
	6月29日	前期ショーへ向けての振り付け演習	振付の中から表現を学ぶ	
	7月6日	前期ショーへ向けての振り付け演習	振付の中から表現を学ぶ	
8	7月13日	前期実技テストと前期のまとめ	人前で身体表現する事	
	7月20日	前期ショーリハーサル		

講師区分	非常勤	講師名	浅井　みどり	関係実務経験	プロダンサー アルゼンチンタンゴ世界大会優勝経験あり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ダンスレッスン	後期Ⅰ	24	30	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技95%、講義5%	なし

科目概要	ダンス全般を習うことによって、正しい姿勢、見られる身体作りを学び、モデルとして身体表現を自然に出来る様、またダンスを自分の武器に出来る様にする。
習得項目	１．人間本来の綺麗な姿勢を取り戻し、日本人にありがちな０脚を直す。 ２．音楽を聴いて、身体で表現する事を学ぶ ３．オーディション対策やその後の仕事をしていく上で、ダンスができる強みを作る。
評価方法	平常点（授業中の態度や取り組み方、積極性など）が７５パーセント、テストの実技点が２５パーセントで評価する。 ダンスの経験値にかかわらず、その人自身の伸びしろや努力を評価。（出席率が７５パーセント未満、成績評価が６０点未満の場合は補習の対象となる。出席率が６５パーセント未満の場合は留年。）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
9	9月7日	前期ショーの振り返り 後期課題のチーム分け、曲決め	積極性など	
10	9月14日	ジャズダンスの基礎、身体作り	ジャズダンスの基礎と表現	
11	9月21日	ジャズダンスの基礎、身体作り②	ジャズダンスの基礎と表現	
12	9月28日	ジャズダンスの基礎、身体作り③	ジャズダンスの基礎と表現	
13	10月5日	ジャズダンスの基礎、身体作り④	ジャズダンスの基礎と表現	
14	10月12日	ジャズダンスの基礎、身体作り⑤	ジャズダンスの基礎と表現	
15	10月19日	ジャズダンスの基礎、身体作り⑥	ジャズダンスの基礎と表現	
16	10月26日	ジャズダンスの応用と振付演習	少し複雑な身体の使い方	
17	11月2日	ジャズダンスの応用と振付演習②	少し複雑な身体の使い方	
18	11月9日	ジャズダンスの応用と振付演習③	少し複雑な身体の使い方	
19	11月16日	ジャズダンスの応用と振付演習④	少し複雑な身体の使い方	
20	11月30日	ジャズダンスの応用と振付演習⑤	少し複雑な身体の使い方	

講師区分	非常勤	講師名	浅井　みどり	関係実務経験	プロダンサー アルゼンチンタンゴ世界大会優勝経験あり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
ダンスレッスン	後期Ⅱ	22	27.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	実技95%、講義5%	なし

科目概要	ダンス全般（ジャズダンスやペアダンス、アルゼンチンタンゴ）を習うことによって、正しい姿勢、見られる身体作りを学び、モデルとして身体表現を自然に出来る様、またダンスを自分の武器に出来る様にする。
習得項目	１．人間本来の綺麗な姿勢を取り戻し、日本人にありがちなＯ脚を直す。 ２．音楽を聴いて、身体で表現する事を学ぶ ３．オーディション対策やその後の仕事をしていく上で、いろいろなダンスができて、ペアダンスも含め引き出しを沢山作り、強みを作る。
評価方法	平常点（授業中の態度や取り組み方、積極性など）が７５パーセント、テストの実技点が２５パーセントで評価する。ダンスの経験値にかかわらず、その人自身の伸びしろや努力を評価。（出席率が７５パーセント未満、成績評価が６０点未満の場合は補習の対象となる。出席率が６５パーセント未満の場合は留年。）

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
21	12月7日	ジャズダンスの応用と振付演習⑥	身体の細部までの表現	
22	12月14日	ジャズダンスの応用と振付演習⑦	身体の細部までの表現	
23	12月21日	年末授業内発表会	人前で踊る経験１	
25	1月11日	ペアダンス（アルゼンチンタンゴ） 基礎と振付演習	相手を思いやる	
26	1月18日	ペアダンス（アルゼンチンタンゴ） 基礎と振付演習②	相手を思いやる	
27	1月25日	ペアダンス（アルゼンチンタンゴ） 基礎と振付演習③	相手を思いやる	
28	2月1日	ペアダンス（アルゼンチンタンゴ） 基礎と振付演習④	相手を思いやる	
29	2月8日	年度末授業内発表会	人前で踊る経験２	
	2月15日	FS期間		
	2月22日	FS期間②		
	2月29日	FS振替休日		

講師区分	非常勤	講師名	浅井　みどり	関係実務経験	プロダンサー アルゼンチンタンゴ世界大会優勝経験あり

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
映像表現	前期	28	35	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義40%実技60%	なし

科目概要	モデルを目指す学生たちが、映像制作を習得することによって、自分が客観的に写されていく、もしくは見られていくことを意識し、モデルとしての自分を別の角度から新発見する。それによってモデルとして更に向上し、自らを冷静に客観的に判断していく目を持つ。そのための映像を使った自己プロデュースの場である。
習得項目	映像制作で、まず企画の立案をさせる。そのため君塚匠や他の監督の企画書をサンプルにさせる。結果、こういう作品になったという見本の映像作品を見せそれに倣わせ「テーマ」を与え企画書を執筆させる。その後、実際に構成や撮影に進ませる。その際一人でドキュメンタリーを監督する学生とチームでドラマを制作する学生に別けジャンルにより映像の見える世界の違いを体感させる。そして幅広い見識を持たせる。自分がファッションショーの演出家やモデルの先生であったら、どういう視点で作品作りをするかを考えさせることで表現力を磨く。
評価方法	出席率60%未満の場合は不可。毎授業の授業態度。課題と実習の取り組みの評価、課題提出物、全て100点満点で評価し、成績 は平均点で算出する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月13日	映像制作の流れ（フィクションとノンフィクションの違い）短編ドキュメンタリーとドラマを見せ、双方の意味の違いを認識させる。	同じ映像でもジャンルによって表現が違うことの認識を学ぶ。	
2	4月20日	君塚匠のドキュメンタリー企画書を解説しそれが映像化された「アナザーストーリーズ」を見せ、それに倣い自分の好きな企画書を書く。	企画書という映像制作の原点を習得する。	
3	4月27日	前回の授業で執筆した企画書から一歩進み構成台本や脚本の書き方を伝授する。サンプルで30分のドラマとその脚本を見せて伝授する。	脚本や構成台本の執筆術を習得する。	
4	5月11日	前回の授業を受けて、実際に執筆した企画書をテーマにし短めの構成台本や脚本を執筆させる。	実践で構成台本を書くということで構成力をぐんぐん身につける。	
5	5月18日	撮影術・前編。カメラの設定の仕方や構図を生徒に実際にカメラを操作させ、教えていく。	カメラアングルによって感情表現の違いを出せることを習得させる。	
6	5月25日	撮影術・後編。実際にカメラマンと役者に分かれて撮影していく。	カメラを回す音の楽しさを学ばせ、モデルとして演じることの向上も目指す。	
	6月1日	スポーツイベント		
7	6月8日	君塚匠のドキュメンタリードラマ「小野田さんと雪男」を見せ、ジャンルの違うドキュメンタリーとドラマの融合の意味することを伝授。	ドキュメンタリーとドラマがどういう形態なのかを学び、次へのステップにする。	
8	6月15日	4)の授業で執筆した構成台本や脚本を元に撮影をする。ドキュメンタリーは一人で撮影。ドラマはチームを作り撮影	実践で撮影することで、より深く脚本や演出力、そして演技力を身につける。	
9	6月22日	撮影をドキュメンタリー班とドラマ班に入れ替わり撮影。	どちらの映像のジャンルも身をもって知る。	
10	6月29日	撮影した映像素材を編集する。premierProの操作方法の座学。	premierProの操作の習得	
11	7月6日	編集操作方法の授業。	実際に撮影した素材を講義と並行して編集していく。	
12	7月13日	編集を終え、作品をそれぞれ発表。	完成作品の見どころを学生に言わせて、発表させ、映像制作の苦労と楽しみを実感させる。	
	7月20日	前期ショーリハーサル		

講師区分	非常勤	講師名	君塚　匠	関係実務経験	映画監督

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
映像表現	後期Ⅰ	24	30	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%実習50%	なし

科目概要	授業で行う映像制作の工程を全て、モデルとしての成長と関連付けられるように目指す。ポージングを得意とするモデルは得手して感情を表現することが苦手なケースもある。そのため、ワークショップの実践や表現者として作品に参加することはモデルという枠組みを超えて、人間力の育成にもつながる。そういう奇跡の瞬間が誕生する講義を狙いとする。
習得項目	1)前期に撮影した素材の編集実践。premierProというハリウッドでも使用してるソフトをマスターし映像の醍醐味を習得し自信を身につける。2)講師・君塚のワークショップ。学生達に感情を出させる演技指導をし表現を豊かにさせる。3)チームで、それぞれ監督・撮影・役者と交互に役割を分担し、2本の短編映画を制作する。脚本と編集は全員で団結し作成。これまで写される側だけだった学生達に別アングルから客観的にモデルという職種を見られる力を習得させる。そのことが、モデルという職業に新発見を得させ、深みと哲学を与える。それが社会に出た時、モデルとしての強い武器とさせる。
評価方法	出席率60%未満の場合は不可。毎授業の授業態度。課題と実習の取り組みの評価、課題提出物、全て100点満点で評価し、成績 は平均点で算出する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
13	9月7日	前期で発表した映像作品の素材を使い、全く別バージョンの編集をする。	編集一つで全く違う世界が作れることを学ぶ。	
14	9月14日	premierProのテキストに付属した素材を使い、一歩踏み込んだ凝った編集術を講義する。	編集により、撮影した素材が生きていく様を習得。	
15	9月21日	演技論講座。モデルは写真に収まったり、ショウでランナウエイを歩く。そこで演技を習得すれば他のモデルと一線を画することができる。	演技とは何かを座学で習得する。	
16	9月28日	映画監督・君塚匠が行うワークショップ前編。その様子をカメラで撮影。	脚本をもとに実際に演技をし、体感し、習得する	
17	10月5日	映画監督・君塚匠が行うワークショップ後編。その様子をカメラで撮影。	演技の幅を広げ、更に豊かな演技力を身につける。	
18	10月12日	生徒が生徒に課題やテキストを出してワークショップをする。1人15分目安。	生徒に演じさせ、演出力を磨き、演じる学生も、それに刺激を受ける。	
19	10月19日	ワークショップを受けて作品制作のための構成台本や脚本を執筆。ドキュメンタリーでもドラマでも好きなジャンルを選ぶ。	自分の構想を脚本にする。発表した脚本に他の学生たちが意見を言い、それも取り入れる。	
20	10月26日	2台のカメラで、チームごとに監督・撮影・役者に分担し撮影する。ドキュメンタリーの生徒もいるので組み合わせは変則的	本格的な作品制作をする事で自身の映像制作スキルを向上させる。	
	11月2日	8)の続き。撮影実習続行。	校内のみならず巣鴨の街並みでも撮影し、ロケとロケセットの違いも習得。	
21	11月9日	撮影を終えた2作品（場合によってはドキュメンタリーも含む）の編集をそれぞれの生徒が自分の感性で行う。	編集によって同じ脚本で撮影しても、それぞれ違う出来栄えになることの発見と習得。	
22	11月16日	完成した2作品の編集作品発表。うまく作れた点。失敗し、反省がある点を述懐する。ドキュメンタリーが入る可能性あり。	成功から学べることは２割程度、失敗と反省から大いに学び、次への糧にする。	
23	11月30日	君塚匠が演出したドキュメンタリードラマを見せる。本作品は中編であり、学生に二つのジャンルを教えてきた今期の総括となる1作品。	鑑賞後、後期１で習得した映像作品を自分の視点からレポートを書き、意見を言わせる。	

講師区分	非常勤	講師名	君塚　匠	関係実務経験	映画監督

2023年度　東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
映像表現	後期Ⅱ	22	27.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義70%実習30%	なし

科目概要	前期、後期１で映像制作の流れを教えてきた。最終期では、映画やテレビの教養を教え、映像制作をする上での最終的な土台作りをする。そして総仕上げにこれまで作ってきた映画やドキュメンタリーの素材を使って、各自、ポートフォリオを作る。それは卒業時、社会に羽ばたく際に映像制作のスキルがあるという武器になる。
習得項目	ある有名な作品を見せて、その時代背景を解説し、その映画が持つ深みを習得させる。そして、『わたしの1推し映画やドキュメンタリー』を執筆させ、発表。そうすることで、映像制作に対する独自の視点、作家性を培わせる。ポートフォリオを作成する際、学生によっては「監督」として。又、別の学生によっては「役者」「モデル」として出演したものを作成し、実際に就職試験に使用できるだけのレベルのものを目指す。
評価方法	出席率60%未満の場合は不可。毎授業の授業態度。課題と実習の取り組みの評価、課題提出物、全て100点満点で評価し、成績 は平均点で算出する。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
24	12月7日	「映画と時代背景」岩井俊二監督「打ち上げ花火」を鑑賞し、それの成り立ち。制作当時の平成初期の映画事情などに触れる。	一つの作品が時代によってどのような影響を受けたかを習得し、映画的教養を身につける。	
25	12月14日	世界の黒澤明の大傑作「生きる」の鑑賞。映像制作をするのであれば必ず押さえておかなければならない映画界の巨人の大傑作。	昭和初期の傑作映画。本年、アメリカで「LIVING」というタイトルでリメイク。タイムリーだ。	
26	12月21日	鑑賞した「生きる」の時代背景の授業。黒澤明が世界にどれほどの影響をもたらしたか、偉人とも言える映画監督を知っておく貴重な機会。	日本人で世界に誇れる映画監督が存在することを知り,日本映画文化の偉大さを習得する。	
27	1月11日	生徒の「私の一推し映画やドキュメンタリー」を執筆し、その映画の予告編を見せ、学生が解説。	自発的に学生が自分の興味ある映画を語ることで映画的教養をより深く習得できる。	
28	1月18日	１年間学んできた知恵と知識をフル稼働し、自分達が制作した撮影素材を編集し直し、ポートフォリオを作成する。	ポートフォリオを作成し、就職活動する際、利用できる生きた授業の習得。	
29	1月25日	作成したポートフォリオの発表。各学生たち、感想や意見を述べ、ブラッシュアップさせたポートフォリオに変える。	ポートフォリオを充実させ、色々な意見がある事で映像は多面的だと習得する。	
30	2月1日	最終回のまとめ。君塚匠監督「喪の仕事」の企画書を見せながら、どうやって実現させたかを教え、映画を上映する。	一本の商業映画の企画書の立案から資金集めといった側面も解説しながら学生に理解させる。	
31	2月8日	「喪の仕事」を上映しながらロケ、衣装、美術、小道具、セットなど映画制作の流れを総括。	総合芸術である映画や映像を最後にあらためて習得させ、全授業を終了させる。	
	2月15日	FS期間		
	2月22日	FS期間②		
	2月29日	FS振替休日		

講師区分	非常勤	講師名	君塚　匠	関係実務経験	映画監督

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
栄養学	前期	28	35	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義90%・調理実習10%	なし

科目概要	生化学・栄養学の基礎を理解し、習得した知識を日常の食生活で実践できるようにする。 モデルとしての体型形成、および維持と健康管理に、習得した知識を活用できるようにする。
習得項目	栄養素の消化・吸収・合成のメカニズムを知る。栄養素の種類と各栄養素の体内での働きを理解し、調理および調理科学の基礎、栄養バランスの整った食事について習得する。
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修威力・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は留年とする。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月14日	初回オリエンテーション	栄養学の目的 授業の進め方	
2	4月21日	栄養素の種類	５大栄養素とは	
3	4月28日	食品群別栄養的特徴	各食品に含まれる栄養素	
4	5月12日	年齢・性別・体型別の エネルギー及び栄養摂取量	BMI・推定必要エネルギー・栄養価計算	
5	5月19日	消化のメカニズム	消化酵素の生化学 咀嚼について	
6	5月26日	調理実習①	調理室の使い方	
7	6月2日	吸収のメカニズム （小腸と大腸）	消化器官の生化学	
8	6月9日	吸収のメカニズム （腸内細菌と腸内環境）	腸内環境の整え方 食物繊維	
9	6月16日	酸化	活性酸素と老化 食品の彩り	
10	6月23日	糖化	血糖値とは	
11	6月30日	5大栄養素応用 （たんぱく質）	アミノ酸スコア	
12	7月7日	水分補給	体内の水分代謝 ミネラルについて	
13	7月14日	調理実習②	スパイス活用法	
	7月21日	前期修了ショー		

講師区分	非常勤	講師名	島田　奈美	関係実務経験	保育園や社員食堂等フードサービス業界でのメニュー開発・衛生管理責任者、クリニックでの栄養指導、企業における栄養研修講師。 働く女性、母子健康の啓発事業に携わる。

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
栄養学	後期Ⅰ	24	30	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義90%・調理実習10%	なし

科目概要	生化学・栄養学の基礎を理解し、習得した知識を日常の食生活で実践できるようにする。 モデルとしての体型形成、および維持と健康管理に、習得した知識を活用できるようにする。
習得項目	栄養素の消化・吸収・合成のメカニズムを知る。栄養素の種類と各栄養素の体内での働きを理解し、調理および調理科学の基礎、栄養バランスの整った食事について習得する。
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修威力・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は留年とする。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
14	9月1日	血液の栄養学 （ヘモグロビンとは）	体の中の鉄分布 ヘモグロビンの役割	
	9月8日	バス遠足		
15	9月15日	血液の栄養学 （貧血の現状）	貧血改善の食生活	
16	9月22日	ライフステージ別栄養学 （プレコンセプション）	月経の基礎知識	
17	9月29日	ライフステージ別栄養学 （最初の1000日）	DoHad・妊活 妊婦栄養	
18	10月6日	ライフステージ別栄養学 （乳幼児期）	離乳食 幼児食	
19	10月13日	ライフステージ別栄養学 （学童期・思春期）	成長に必要な栄養素 スポーツ栄養学	
	10月20日	運動会		
20	10月27日	ライフステージ別栄養学 （成人期・壮年）	時間栄養学	
21	11月10日	ライフステージ別栄養学 （成人期・中年）	生活習慣病と栄養学	
22	11月17日	ライフステージ別栄養学 （更年期・シニア期）	サルコペニア ロコモ・フレイル	
23	11月24日	調理実習③	だしの科学	

講師区分	非常勤	講師名	島田　奈美	関係実務経験	保育園や社員食堂等フードサービス業界でのメニュー開発・衛生管理責任者、クリニックでの栄養指導、企業における栄養研修講師。 働く女性、母子健康の啓発事業に携わる。

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
栄養学	後期Ⅱ	22	27.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義90%・調理実習10%	なし

科目概要	生化学・栄養学の基礎を理解し、習得した知識を日常の食生活で実践できるようにする。 モデルとしての体型形成、および維持と健康管理に、習得した知識を活用できるようにする。
習得項目	栄養素の消化・吸収・合成のメカニズムを知る。栄養素の種類と各栄養素の体内での働きを理解し、調理および調理科学の基礎、栄養バランスの整った食事について習得する。
評価方法	各項目に標準点を置き、「履修威力・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は留年とする。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
24	12月1日	5大栄養素応用 （脂質）	脂肪酸の組成 抗炎症	
25	12月8日	５大栄養素応用 （脂溶性ビタミン）	日照時間とビタミンD	
26	12月15日	５大栄養素応用 （水溶性ビタミン）	脚気とビタミンB群 副腎疲労症候群	
27	12月22日	映画鑑賞会 （南極料理人）	食べるとは？ 料理とは？	
28	1月12日	不定愁訴別栄養学 （疲れ・冷え・むくみ）	たんぱく質・鉄 カリウム・ビタミンB	
29	1月19日	不定愁訴別栄養学 （メンタルダウン・PMS）	ビタミンD・オメガ3 鉄・亜鉛	
30	1月26日	サプリメンテーション	サプリメントの活用法	
31	2月2日	卒業制作準備	年間の総復習 彩り・栄養バランス	
32	2月9日	調理実習④	卒業制作	
	2月16日	FS期間		
	3月1日	FS振替休日		

講師区分	非常勤	講師名	島田　奈美	関係実務経験	保育園や社員食堂等フードサービス業界でのメニュー開発・衛生管理責任者、クリニックでの栄養指導、企業における栄養研修講師。 働く女性、母子健康の啓発事業に携わる。

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
オーディション対策	後期Ⅰ	24	30	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必須	演習50%　講義50%	なし

科目概要	オーディションへのエントリーならびに準備と対策。SNS対策
習得項目	モデルとして仕事をする為に、業界の情報をリサーチし理解を深め、その上で必要な書類作成、オーディションでのマナーを身につけ事務所所属を目指す
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、「テスト」その平均値を算出し評価を行う。

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	1	9月1日	授業説明、自己紹介	自己理解	
	2	9月8日	遠足		
	3	9月15日	他己分析	自己理解	
	4	9月22日	モデルリサーチ	課題内容の知識習得	
	5	9月29日	特別講座	SNS理解、スキル向上	外部講師「近藤耀司」
	6	10月6日	モデル、事務所リサーチ	事務所を知る	
		10月13日	↓	↓	
		10月20日	運動会		
	7	10月27日	特別講座（SNS）	SNS理解、スキル向上	外部講師「近藤耀司」
	8	11月10日	エントリー事務所用資料作成	事務所に受かる	
		11月17日	↓	↓	
	9	11月24日	特別講座（SNS）	SNS理解、スキル向上	外部講師「近藤耀司」

講師区分	常勤	講師名	伏見 幸恵	関係実務経験	PR会社にてプレスを経験しアパレルにおける広報業務全般（プレス、スタイリスト業務、など）の経験があり。実務経験に基づいて専門知識習得、就職活動に活かした授業を展開する

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
オーディション対策	後期Ⅱ	22	27.5	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	演習50%　講義50%	なし

科目概要	オーディションへのエントリーならびに準備と対策。SNS対策
習得項目	モデルとして仕事をする為に、業界の情報をリサーチし理解を深め、その上で必要な書類作成、オーディションでのマナーを身につけ事務所所属を目指す
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」、「課題評価」、「テスト」その平均値を算出し評価を行う。

授業計画	ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
	10	12月7日	エントリー資料作成、ビジネスマナーの習得（基本マナー、敬語、挨拶）	現場で恥ずかしくない挨拶を身につける	
	11	12月14日	エントリー資料作成、ビジネスマナーの習得（電話、メール、コミュニケーション）	電話、メール、コミュニケーションマナー	
	12	12月22日	特別講座（SNS）	SNS理解、スキル向上	外部講師「近藤耀司」
	13	1月12日	エントリー資料作成、ビジネスマナーの習得（クッション言葉、席次）	クッション言葉、席次マナー	
	14	1月19日	エントリーシート見直し	事務所に受かる	
	15	1月26日	特別講座（SNS）	SNS理解、スキル向上	外部講師「近藤耀司」
	16	2月2日	テスト		
	17	2月9日	復習		
	18	2月16日	ファッションショー期間		
		3月1日	↓		

講師区分	常勤	講師名	伏見 幸恵	関係実務経験	PR会社にてプレスを経験しアパレルにおける広報業務全般（プレス、スタイリスト業務、など）の経験があり。実務経験に基づいて専門知識習得、就職活動に活かした授業を展開する

2023年度 東京服飾専門学校 教科別シラバス

授業科目名	学期	回数（限）	時間数	学科コース	学年	クラス
カメラワーク	前期	28	35	モデル科	1	

選択区分	必修 or 選択	授業形態（講義/実習割合）	企業連携・企業講師
	必修	講義50%/実習50%	なし

科目概要	写真の基礎知識、理解を深めて、ファッションと写真の関わり方を学ぶ。 デジタルカメラの基本操作や基本技術を学び、感性や表現力の向上につなげていく。
習得項目	1.写真の基礎知識の習得 2.デジタルカメラの使用方法の習得
評価方法	授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題評価100点、定期試験を100点として平均値を算出し、成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習・補講対象となる。出席率が65%未満の場合は留年。

授業計画

ステップ	（月/日）	学習内容・課題	習得目標	他授業連携
1	4月14日	授業オリエンテーション	授業内容への理解	
2	4月21日	写真の基礎知識 （絞り・シャッタースピード・ISO・構図アングル カラーバランス）	基礎知識	
3	4月28日	一眼レフの取り扱い方法 （学生同士で撮影・データについて）	基礎知識・基本操作	
4	5月12日	学内でスタイリング写真撮影 （全身・上半身・座り・寄りなど）	構図アングルの応用	
5	5月19日	屋外ロケ撮影	屋内撮影との違い	
6	5月26日	テーマに合わせたグループ撮影 （企画書作成～撮影）	企画力やチームワーク	
7	6月2日	カメラモード撮影 （スポーツ・夜景・風景など）1日はスポーツイベント	操作応用	
8	6月9日	ブツ撮りについてのレクチャー （アパレルアイテム・バッグの中身・その他商品など）	構図アングルの応用	
9	6月16日	写真加工・Photoshop	基本操作	
10	6月23日	テストに向けた企画書作成・提出	基礎・応用	
11	6月30日	筆記テスト	基礎知識・基本操作	
12	7月7日	撮影実技テスト	基礎知識・基本操作	
13	7月14日	講評・まとめ		
	7月21日	前期修了ショー		

講師区分	常勤	講師名	飯田　紗綾	関係実務経験	―